

2) 支援関係者の基本的心構え

被害者等を含めた全体状況を見据えながら、自らの立場や責任を心得て、さらに他者等としっかり連携、協力しながら、行うべきことを主体的に行う。

支援者の善意は、被害者がそれを実感できるときにのみ、「善意」と理解される。

何かを伝えたり、行ったりする前に、被害者のことを理解しているかを自問する。

周囲の者が確実に努力できることは二次被害の低減である。一回の対応によって被害者に半永久的な影響を及ぼすからである。